

平成18年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ
調査名：詳細環境調査
調査媒体：生物（ng/g-wet）
地方公共団体：北海道
試料採取機関：北海道環境科学研究センター
調査地点及び魚種：日本海沖（岩内沖） アイナメ

調査対象物質	測定値（評価値）			報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1	検体2	検体3		
[15](N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)及びその塩類	nd	nd	nd	0.3	0.3
[18] 水素化テルフェニル	nd	nd	nd	※※0.52	※※0.52
[18-1] 水素化テルフェニル(HT242a)	nd	nd	nd	0.08	0.08
[18-2] 水素化テルフェニル(HT242b)	nd	nd	nd	0.09	0.09
[18-3] 水素化テルフェニル(HT242c)	nd	nd	nd	0.02	0.02
[18-4] 水素化テルフェニル(HT242d)	nd	nd	nd	0.05	0.05
[18-5] 水素化テルフェニル(HT236a)	nd	nd	nd	0.10	0.10
[18-6] 水素化テルフェニル(HT236b)	nd	nd	nd	0.09	0.09
[18-7] 水素化テルフェニル(HT236c)	nd	nd	nd	0.09	0.09
[24] トリクロロニトロメタン（別名：クロロピクリン）	nd	nd	nd	0.3	0.3
[26] 1,1-ビス(tert-ブチルジオキシ)-3,3,5-トリメチルシクロヘキサン	nd	nd	nd	0.03	0.03
[27] ヒドラジン	nd	1.6	1.3	1.2	1.2
[30] 2-(2-ベンゾチアゾリルオキシ)-N-メチルアセトアニド（別名：メフェナセット）	nd	nd	nd	0.3	0.3

(注1) nd：不検出
(注2) ※※は同族体ごとの検出下限値の合計とした。
(注3) 水素化テルフェニルについては、標準物質（工業製品）のクロマトグラムにおいて得られた7ピークのうち、分子量242のものをHT242a～HT242d、分子量236のものをHT236a～HT236cとして、測定・定量した。